



2023年4月28日

各位

会社名 池上通信機株式会社  
代表者名 代表取締役社長 清森洋祐  
(コード番号 6771 東証スタンダード市場)  
問合せ先 常務取締役常務執行役員  
経営管理本部長 青木 隆明  
(TEL 03 - 5700 - 1113)

棚卸資産評価損（売上原価）の計上ならびに  
業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年4月28日開催の取締役会において、棚卸資産評価損（売上原価）を計上することを決議し、また、最近の業績の動向等を踏まえ、2022年5月12日に公表した業績予想および1株当たり配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 棚卸資産評価損（売上原価）の計上について

新型コロナウイルス感染症の世界的流行に端を発した半導体等部材の入手難が継続する状況下において、お客様の契約納期遵守のため、部材調達にあたり通常仕入れ価格より高額な市場流通品を一定数確保せざるを得ず調達いたしました。その結果、直近におけるそれら部材の評価額が2023年3月末の帳簿価額を下回ったことから、主に再調達原価まで切り下げる方法により会計処理を行い、8億27百万円を棚卸評価損として売上原価に計上するものです。

2. 業績予想の修正について

2023年3月期通期連結業績予想数値の修正（2022年4月1日～2023年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 21,000	百万円 400	百万円 350	百万円 250	円 銭 39.11
今回修正予想(B)	22,140	△990	△1,000	△1,070	△167.27
増減額(B-A)	1,140	△1,390	△1,350	△1,320	
増減率(%)	5.4	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	18,470	255	293	178	27.98

## 修正の理由

売上高におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響が緩和し、国内外での需要が回復傾向で推移し受注が好調であったこと、あわせてお客様の契約納期を遵守できたことも寄与し、当初の予想を上回る見込みです。

一方、損益面につきましては、販売価格の見直し・改定を進めるなど、サプライチェーンの混乱による影響を最小限に留めるための施策を敢行して参りましたが、部材価格の高騰による急激な売上原価の悪化を吸収できなかったこと、また、上記1項「棚卸資産評価損（売上原価）の計上について」に記載のとおり、棚卸資産評価損として8億27百万円を売上原価に計上することから、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益ともに当初の予想を下回る見込みです。

## 3. 配当予想の修正について

	年 間 配 当 金		
	第 2 四半期末	期 末	合 計
前回予想	円 銭	円 銭 15.00	円 銭 15.00
今回修正予想		10.00	10.00
当期実績	0.00		
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	0.00	10.00	10.00

## 修正の理由

当社は、株主の皆さまへの利益還元を経営の重要な責務であるという認識のもと、収益の状況や経営環境に対応した安定配当の継続を基本とし、企業体質の強化と将来の事業展開に備えるための内部留保の充実などを勘案し、配当を行うことを基本としています。

2023年3月期の期末配当予想につきましては、上記の業績予想の修正のとおり、親会社株主に帰属する当期純利益が当初の予想を大幅に下回る見込みであることから、内部留保とのバランスを考慮しつつ、当社の株主還元方針を踏まえ、誠に遺憾ながら当初の1株当たり15円の配当予想を10円に修正させていただきます。

株主の皆さまにおかれましては、何卒ご理解の上、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

注) 上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想値と異なる可能性があります。

以 上